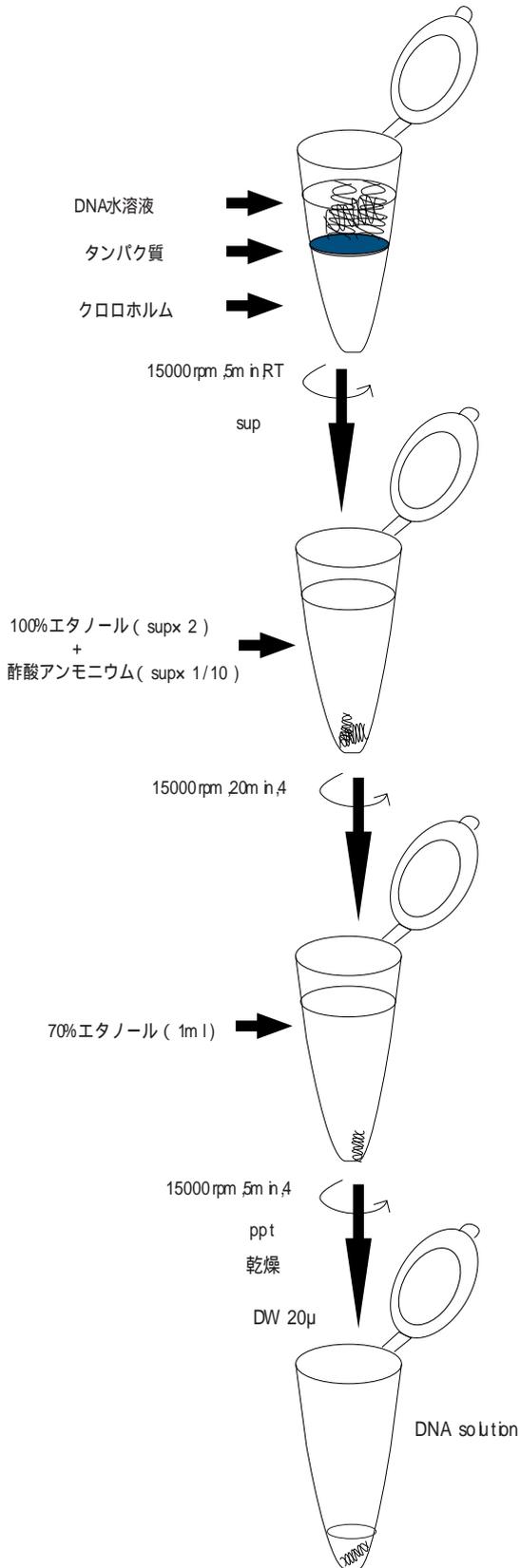


エタノール沈殿

操作



核酸を精製、濃縮する最も一般的な方法は、分子コロイドであるDNAをアルコールと塩で凝集させて沈殿を得る（コロイドの塩析）方法である。使用するアルコールの種類により、エタノール沈殿、イソプロピルアルコール沈殿などがある。これらは、サンプル量の違いにより選択されることが多い。イソプロピルアルコールは、エタノールがサンプルの2倍量入れるのに対し、等量入れるだけでよい。

エタノール沈殿の場合にはRNAも共沈するが、この問題はポリエチレングリコール（PEG）を用いることにより解決される。この方法はシーケンスなどに用いるプラスミドを調製する際にRNase処理と併用して行われることが多い。